

令和4年度 熊本大学2次試験前期日程(数学問題)120分  
理系(理, 薬, 工, 医保健(放射線, 検査)) 令和4年2月25日

問題 1 2 3 4

1  $a$  を実数とし, 座標空間の点  $P_1(a, 0, 0)$ ,  $P_2(a+1, 0, 0)$ ,  $Q(0, 1, 0)$ ,  $R(0, 0, 3)$  を考える.  $G_1, G_2$  をそれぞれ  $\triangle P_1QR$ ,  $\triangle P_2QR$  の重心とする. 以下の問いに答えよ.

- (1)  $P_1, P_2$  を通る直線と,  $G_1, G_2$  を通る直線は平行であることを示せ.
- (2) 四角形  $P_1P_2G_2G_1$  の面積を求めよ.
- (3) 四角形  $P_1P_2G_2G_1$  を底面とする四角錐  $Q-P_1P_2G_2G_1$  の体積を求めよ.

2 袋の中に赤玉2個と白玉2個の合計4個の玉が入っている. AとBの2人で次のルールに従ってゲームをする.

- A, Bの順で繰り返しプレイヤーになる.
- プレイヤーは袋から玉を同時に2個取り出す. 取り出した玉の色が同じならば, プレイヤーの勝利とする. 取り出した玉の色が異なるならば, それらを袋に戻してよくかき混ぜ, プレイヤーを交替する.
- Aが勝利するか, Aが勝利せずにAの後にBがプレイヤーになり, Bが勝利するか, Bが勝利せずにプレイヤーを交替することによって1巡が終了する.
- 勝者が決まるとゲームは終了する.

以下の問いに答えよ.

- (1) Bが1巡目で勝者になる確率を求めよ.
- (2)  $N$  を自然数とし,  $N$  巡目以内にBが勝者になる確率を  $p_N$  とする.  $p_N > 0.396$  となる  $N$  の最小値を求めよ. ただし,  $\log_2 3 = 1.585$ ,  $\log_2 5 = 2.322$  とする.
- (3)  $N$  を自然数とする.  $N$  巡目以内に勝者になる確率は, AとBのどちらが大きいか.

**3**  $x, y$  を実数とし,  $f(p) = p^2 + xp + y$  とおく。このとき, 以下の問いに答えよ。

- (1)  $p$  の 2 次方程式  $f(p) = 0$  が実数解を持つような点  $(x, y)$  全体の集合を  $D$  とおく。  $D$  を  $xy$  平面上に図示せよ。
- (2)  $p$  の 2 次方程式  $f(p) = 0$  は実数解を持つとする。  $f(p) = 0$  の実数解がすべて 1 以下で, 少なくとも 1 つの実数解は 0 以上となるような点  $(x, y)$  全体の集合を  $E$  とおく。  $E$  を  $xy$  平面上に図示せよ。
- (3) 点  $(x, y)$  が (2) の集合  $E$  全体を動くとき,  $x^2 + y^2 - 4y + 4$  の最小値を求めよ。

**4** 関数  $f(x) = \sqrt{1 + \sin^2 \frac{\pi x}{2}}$  について, 以下の問いに答えよ。

- (1)  $f(x)$  ( $0 \leq x \leq 1$ ) の最小値と最大値を求めよ。
- (2)  $0 \leq x \leq 1$  において,  $\sqrt{2}x \leq f(x) \leq \sqrt{2}$  となることを示せ。
- (3) 数列  $\{a_n\}$  を

$$a_n = \int_0^1 \{f(x)\}^n dx \quad (n = 1, 2, 3, \dots)$$

で定める。  $\lim_{n \rightarrow \infty} \sqrt[n]{a_n}$  の値を求めよ。ただし,  $\lim_{n \rightarrow \infty} \frac{\log(n+1)}{n} = 0$  を用いてよい。

## 解答例

$$\boxed{1} \quad (1) \quad P_1(a, 0, 0), P_2(a+1, 0, 0) \text{ より } \overrightarrow{P_1P_2} = (1, 0, 0)$$

$Q(0, 1, 0), R(0, 0, 3)$ .  $\triangle P_1QR, \triangle P_2QR$  のそれぞれの重心  $G_1, G_2$  は

$$G_1\left(\frac{a}{3}, \frac{1}{3}, 1\right), G_2\left(\frac{a+1}{3}, \frac{1}{3}, 1\right) \quad \text{ゆえに } \overrightarrow{G_1G_2} = \left(\frac{1}{3}, 0, 0\right)$$

$$\text{したがって } \overrightarrow{G_1G_2} = \frac{1}{3}\overrightarrow{P_1P_2}$$

よって,  $P_1, P_2$  を通る直線と,  $G_1, G_2$  を通る直線は平行である.

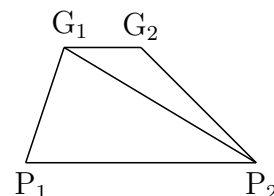
$$(2) \quad \overrightarrow{P_1P_2} = (1, 0, 0), \overrightarrow{P_1G_1} = \left(-\frac{2a}{3}, \frac{1}{3}, 1\right) \text{ より}$$

$$|\overrightarrow{P_1P_2}|^2 = 1, \quad |\overrightarrow{P_1G_1}|^2 = \frac{4a^2}{9} + \frac{10}{9}, \quad \overrightarrow{P_1P_2} \cdot \overrightarrow{P_1G_1} = -\frac{2a}{3}$$

$$\begin{aligned} \text{したがって } \Delta P_1P_2G_1 &= \frac{1}{2} \sqrt{|\overrightarrow{P_1P_2}|^2 |\overrightarrow{P_1G_1}|^2 - (\overrightarrow{P_1P_2} \cdot \overrightarrow{P_1G_1})^2} \\ &= \frac{1}{2} \sqrt{1 \left( \frac{4a^2}{9} + \frac{10}{9} \right) - \left( -\frac{2a}{3} \right)^2} = \frac{\sqrt{10}}{6} \end{aligned}$$

求める四角形  $P_1P_2G_2G_1$  の面積を  $S$  とすると

$$\begin{aligned} S &= \Delta P_1P_2G_1 + \Delta G_1G_2P_2 \\ &= \Delta P_1P_2G_1 + \frac{1}{3} \Delta P_1P_2G_1 \\ &= \frac{4}{3} \Delta P_1P_2G_1 = \frac{4}{3} \cdot \frac{\sqrt{10}}{6} = \frac{2\sqrt{10}}{9} \end{aligned}$$



$$(3) \quad \overrightarrow{P_1R} = (-a, 0, 3). \quad \overrightarrow{P_1P_2} \text{ および } \overrightarrow{P_1G_1} \text{ に垂直な単位ベクトルの 1 つを}$$

$$\vec{n} = \frac{1}{\sqrt{10}}(0, -3, 1)$$

とする. 点  $R$  から四角形  $P_1P_2G_1G_2$  に引いた垂線の長さ  $h$  は

$$h = |\overrightarrow{P_1R} \cdot \vec{n}| = \frac{3}{\sqrt{10}}$$

よって, 求める立体の体積を  $V$  とすると

$$V = \frac{1}{3}Sh = \frac{1}{3} \cdot \frac{2\sqrt{10}}{9} \cdot \frac{3}{\sqrt{10}} = \frac{2}{9}$$

■

2 (1) 違う色の玉を取り出す確率は  $\frac{{}_2C_1 \times {}_2C_1}{{}_4C_2} = \frac{2 \times 2}{6} = \frac{2}{3}$

同じ色の玉を取り出す確率は、上の余事象の確率であるから  $1 - \frac{2}{3} = \frac{1}{3}$

よって、Bが1巡目で勝者になる確率は  $\frac{2}{3} \times \frac{1}{3} = \frac{2}{9}$

(2)  $N$  巡目で B が勝者になる確率は  $\left\{ \left( \frac{2}{3} \right)^2 \right\}^{N-1} \times \frac{2}{9} = \frac{2}{9} \left( \frac{4}{9} \right)^{N-1}$

よって、 $N$  巡目以内に B が勝者になる確率  $p_N$  は

$$p_N = \sum_{k=1}^N \frac{2}{9} \left( \frac{4}{9} \right)^{k-1} = \frac{2}{9} \times \frac{1 - \left( \frac{4}{9} \right)^N}{1 - \frac{4}{9}} = \frac{2}{5} \left\{ 1 - \left( \frac{4}{9} \right)^N \right\}$$

$$p_N > 0.396 \text{ となるとき } \frac{2}{5} \left\{ 1 - \left( \frac{4}{9} \right)^N \right\} > 0.396$$

$$\left( \frac{4}{9} \right)^N < \frac{1}{100} \text{ ゆえに } \left( \frac{3}{2} \right)^N > 10$$

上の第2式について2を底とする対数をとると

$$N(\log_2 3 - 1) > 1 + \log_2 5 \text{ ゆえに } 0.585N > 3.322$$

したがって  $N > \frac{3322}{585} = 5.6\dots$  よって  $N$  の最小値は **6**

(3)  $N$  巡目で A が勝者になる確率は  $\frac{1}{3} \left\{ \left( \frac{2}{3} \right)^2 \right\}^{N-1} = \frac{1}{3} \left( \frac{4}{9} \right)^{N-1}$

$N$  巡目以内に A が勝者になる確率を  $q_N$  とすると

$$q_N = \sum_{k=1}^N \frac{1}{3} \left( \frac{4}{9} \right)^{k-1} = \frac{1}{3} \times \frac{1 - \left( \frac{4}{9} \right)^N}{1 - \frac{4}{9}} = \frac{3}{5} \left\{ 1 - \left( \frac{4}{9} \right)^N \right\}$$

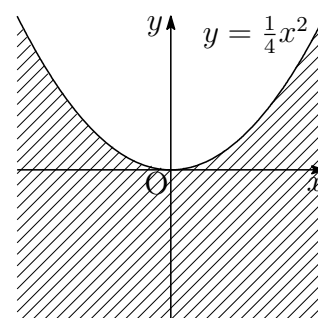
$$\text{したがって } q_N - p_N = \frac{1}{5} \left\{ 1 - \left( \frac{4}{9} \right)^N \right\} > 0$$

よって、求める確率は、Aの方が大きい。 ■

- 3 (1)  $f(p) = p^2 + xp + y$  について,  $f(p) = 0$  が実数解を持つから係数について

$$x^2 - 4y \geq 0 \quad \text{ゆえに} \quad y \leq \frac{1}{4}x^2$$

よって,  $D: y \leq \frac{1}{4}x^2$  の表す領域は, 右の図の斜線部分で境界線を含む.



(2)  $f(p) = \left(p + \frac{x}{2}\right)^2 + y - \frac{x^2}{4}$

[1]  $f(p) = 0$  の2つの解がともに  $0 \leq p \leq 1$  にあるとき,

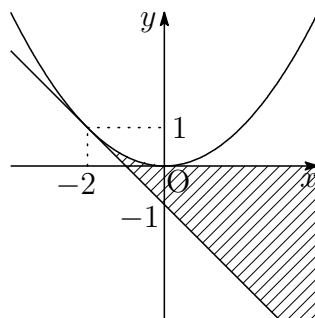
$$0 \leq -\frac{x}{2} \leq 1, \quad y - \frac{x^2}{4} \leq 0, \quad f(0) \geq 0, \quad f(1) \geq 0 \text{ より}$$

$$-2 \leq x \leq 0, \quad y \leq \frac{x^2}{4}, \quad y \geq 0, \quad y \geq -x - 1$$

[2]  $f(p) = 0$  の1つの解が  $p \leq 0$ , 他の1つの解が  $0 \leq p \leq 1$  にあるとき,  
 $f(0) \leq 0, f(1) \geq 0$  より

$$y \leq 0, \quad y \geq -x - 1$$

$E$  の表す領域は, [1] または [2] を満たす領域で境界線を含む.



- (3)  $f(x, y) = x^2 + y^2 - 4y + 4$  とおくと,  $f(x, y) = x^2 + (y - 2)^2$  は点  $(x, y)$  と点  $(0, 2)$  の距離の2乗である. これを最小にする  $E$  上の点は

$$y = \frac{1}{4}x^2 \quad (-2 \leq x \leq 0)$$

にあるから,  $-2 \leq x \leq 0$  における次式の最小値を求めればよい.

$$f\left(x, \frac{1}{4}x^2\right) = x^2 + \left(\frac{1}{4}x^2 - 2\right)^2 = \frac{1}{16}x^4 + 4$$

よって, 求める最小値は  $f(0, 0) = 4$  ■

4 (1)  $f(x)$  ( $0 \leq x \leq 1$ ) は単調増加であるから

$$\text{最小値 } f(0) = 1, \quad \text{最大値 } f(1) = \sqrt{2}$$

(2)  $g(x) = \sin \frac{\pi x}{2}$  とおく ( $0 \leq x \leq 1$ ).

曲線  $y = g(x)$  は上に凸であり, 2点  $(0, 0)$ ,  $(1, 1)$  を結ぶ線分

$$y = x \quad (0 \leq x \leq 1)$$

の下側にならぬから

$$g(x) \geq x \geq 0 \quad (0 \leq x \leq 1)$$

が成り立つ. したがって,  $0 \leq x \leq 1$  において

$$\begin{aligned} f(x)^2 - 2x^2 &= 1 + \sin^2 \frac{\pi x}{2} - 2x^2 \\ &= 1 - x^2 + g(x)^2 - x^2 \geq 0 \end{aligned}$$

$f(x) > 0$  であるから  $f(x) \geq \sqrt{2}x$  ( $0 \leq x \leq 1$ )

上式および (1) の結果から  $\sqrt{2}x \leq f(x) \leq \sqrt{2}$  ( $0 \leq x \leq 1$ )

(3) (2) の結果から

$$\int_0^1 (\sqrt{2}x)^n dx \leq \int_0^1 \{f(x)\}^n dx \leq \int_0^1 (\sqrt{2})^n dx$$

したがって  $\frac{(\sqrt{2})^n}{n+1} \leq a_n \leq (\sqrt{2})^n$  ゆえに  $\frac{\sqrt{2}}{\sqrt[n]{n+1}} \leq \sqrt[n]{a_n} \leq \sqrt{2} \dots (*)$

$\lim_{n \rightarrow \infty} \log \sqrt[n]{n+1} = \lim_{n \rightarrow \infty} \frac{\log(n+1)}{n} = 0$  より  $\lim_{n \rightarrow \infty} \sqrt[n]{n+1} = 1 \dots (**)$

(\*), (\*\*) から, はさみうちの原理により  $\lim_{n \rightarrow \infty} \sqrt[n]{a_n} = \sqrt{2}$  ■

